

ROSSO

Car and Entertainment Magazine



2+2フェラーリ、
612スカリエッティ発表。

2003 December
780YEN

12

Porsche Carrera GT

Features Close-up

最高出力612ps、掛け値なしの330km/h!
史上最強のスーパー・ポルシェ、ディテールからパフォーマンスまで
全方位徹底パーフェクト試乗レポート。

ポルシェ・カレラGT 完全読本。

超軽量のスーパーウエポン。

BMW M3 CSL、日本初試乗。

シリーズ:フルディテール

ランボルギーニ・ディアブロSVR



フレンツェン&ハイドフェルド
ザウバーのF1パイロットが
スーパーカーを超絶試乗!

エンツォ・フェラーリ
ランボルギーニ・ムルシエラゴ
ポルシェ911



フランクフルト・ショー2003、チューニングカーレポート。

European Tuning Trend



先月号にて速報でお届けしたフランクフルト・ショーレポート。その第2弾として、今月はフランクフルト・メッセのホール1を占拠した数々のチューニングカーたちをレポートする。もちろんお膝元ドイツ車のチューニングが中心となるが、フェラーリ・チューナーの新星も現れ、見逃せない情報が多い。華やかなチューナーたちが魅せる最新のトレンドをとくにご覧あれ。

山崎元裕●文
text by Motohiro Yamazaki
森山俊一●写真
photographs by Toshikazu Moriyama

NOVITEC ROSSO

かのアルファ・チューナー、
フェラーリのモディファイを開始。



ノビテックと云えば、アルファロメオやフィアットなどイタリア車のチューニングブランドとして知られる。しかし彼らはノビテック・ロッソという新たなブランド名を携えて、ここFrankfurtへやってきた。そうこのブースこそが、ノビテック・ロッソ、世界初披露の場なのだ。ドイツ車中心のホール1では、異彩を放っていた。



メルセデス・ベンツSLRマクラーレンを始め、数多くの新型スーパースポーツが誕生したことで、観衆の目を魅了してくれた2003年のFrankfurt・ショー。このショーにはいくつものチューニングメーカーも、その最新作を展示するブースを構えていた。周知のとおり、ドイツのチューニングメーカーにとっては、毎年11月末から12月にかけて開催される、エッセン・ショーが、最も重要なエキシビションの場として認識されているわけだが、やはりこのFrankfurtとエッセンとは、その舞台も異なれば、実際にブースを訪れる観衆の層も異なるのだという。国際格式のモーターショーとして世界中のメディアから注目を受けるFrankfurtは、新たなビジネスチャンスを狙うメーカーには、非常に魅力的なイベントだ。

いつもどおりに、Frankfurt・メッセの正面ゲート寄り、ホール1を中心にブースを構えることがほとんど。今年はそのチューニングメーカーだが、今年はその中でも特に注目されたのが、ここで紹介するフェラーリのチューニングブランド、「ノビテック・ロッソ」。

今回は360シリーズを中心に、数台のコンプリートモデルが同社のブースには展示されたが、それはいずれも非常に高い完成度とデザイン性を誇るモデルに仕上げられていた。ちなみにノビテック・ロッソでは、すでにエクステリアやインテリアのモディファイプログラムに加え、エンジンやシャシーなど、そのチューニングプログラムが

例の新型スーパースポーツのデビューラッシュが重なったという事情もあるのだろうか、あるいは最近のチューニング業界の実情を如実に表しているのだろうか、このホールの勢いはやや物足りなかったというのが正直な感想である。もちろん個々にブースを見ていけば、そこには興味深い新型車が数多く存在しているのだが、思わず足を止めて、それに魅入ってしまうほどのオーラを放つモデルは、ごく限られた数だったように思う。

このノビテック・ロッソの象徴ともいえるのは、それぞれ「スーパースポーツ」、「スポーツ」と呼ばれる、2種類の360シリーズ対応のチューニングエンジンだ。エンジンルームを覗き込んでみても、カーボン製エアボックスを始め、オリジナルのそれとは異なる造型が視界に飛び込んでくる。そして最大のトピックスは、この両ユニットが、いずれもツインコンプレッサー仕様として完成されていること。

0・61バルルの最大過給圧を設定するスーパースポーツの最高出力は実に606ps。同様に0・48バルルを設定するスポーツでも、最高出力は555psに達するというから、その戦闘力は相当に期待できそうだ。

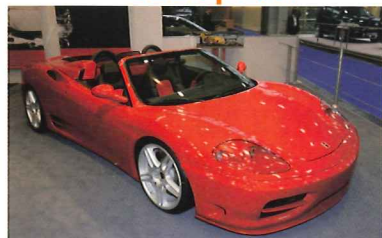


Based on 360Modena



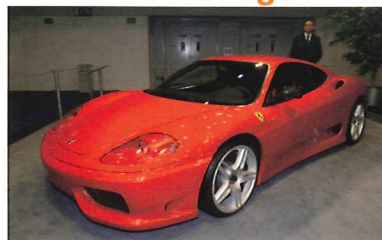
エクステリアのフィニッシュは、オリジナルのボディラインを尊重しつつ、端正な中にもノビテック・ロッソらしい力強さとスポーティさを強調したもので、フェラーリ自製のN-GT仕様、360GTのコンセプトにも共通する処理も見られる。インテリアの仕上げも実に高品質。軽量のカーボン素材で成型されたパーツも、内外装とも数多く用意される。19インチのアルミホイールにも注目。

Based on 360Spider



機構的にはモデナと完全に共通の360スパイダー。このハイパフォーマンスオープンスポーツも、もちろんノビテック・ロッソには重要な素材のひとつとなっている。本文中で紹介した2種類のパワーユニットから好みのものを選択することも可能だし、エクステリア&インテリアのモディファイや、シャシーに特化したチューニングなど、カスタマーからのいかなる要求にも応えられるように、彼らのチューニングプログラムは完成されている。

Based on Challenge Stradale



フェラーリによるハウスチューニングの1台ともいえる、チャレンジ・ストラダレにも、もちろんチューニングの余地は残されている。サスペンションを始め、19インチ径のオリジナルホイールなど、自分自身の個性を強く主張したチャレンジ・ストラダレに乗りたいたいというカスタマーにとって、ノビテック・ロッソの存在は非常に力強いはず。この19インチホイールの装着を前提とした、スペシャルブレーキシステムも注目のアイテムである。